令和８年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

令和８年４月に全国学力・学習状況調査が行われました。

この調査の目的は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。今年度は６年生２教科（国語・算数）、９年生３教科（国語・数学・英語）の教科調査と質問調査（学習・生活状況に関する質問）を実施しました。

飯舘村教育委員会では、調査結果から子ども達の良さや課題を把握し、継続的な検証改善サイクルを確立しながら確かな学力を育むことを目指していきます。

福島県の傾向

- 小・中学校国語は全国平均をやや下回っている。小学校算数と中学校数学においても全国平均をやや下回っている。
- 質問紙調査から「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と答える児童生徒は全国平均を上回っている。
- 全国平均と比べて、情報収集のためのＩＣＴ活用から、課題解決のためのＩＣＴ活用につなげていくことに課題がある。

飯舘村の傾向

- 前期課程（小学校）国語、算数ともに全国平均を下回っている。後期課程（中学校）国語は全国平均を下まわっているが、数学・英語は全国平均とほぼ同程度である。
- 質問紙調査から「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う」と答える児童生徒は全国平均及び県平均を上回っている。
- 授業におけるＩＣＴ機器の活用頻度は全国や県平均に比べて極めて高い。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）家庭で勉強する時間について、後期課程（中学校）は全国平均と同程度であるが、前期課程（小学校）は下回っており、家庭学習の定着に課題が見られる。



各教科の結果と質問紙調査との関連を分析して、正答率の高い傾向にある児童生徒の回答

生活に関わること	学習に関わること
● 先生は、あなたのよいところを認めてくれる。 ● 学校に行くのは楽しい。 ● あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、お互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている。	● 自分と違う意見について考えるのは楽しい。 ● あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う。 ● 学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる。 ● 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれる。

学力向上に向けた今後の取り組みおよび保護者の方へのお願い

学校での取り組み



- 飯舘村教育委員会版「令和８年度　学力向上推進プラン」の飯舘型授業スタイルを基に学習の全過程で児童生徒の活動を認め、称賛しながら、一人ひとりの姿を見取り、支援していきます。
- 少人数教育のメリットをいかした指導を継続していきます。さらに、福島県教育委員会から出された「学びの変革推進プラン」に基づいて、児童生徒が主体的で対話的な学びを進め、「学び出す」「学び合う」「学び取る」の授業の展開を進めていきます。
- ＩＣＴ機器を積極的に活用し、協働的な学びや思考力・判断力・表現力の向上に役立たせてきました。引き続き活用しながら個別最適な学びにもつなげていきます。
- 思考力、判断力、表現力の向上のために、授業では児童生徒たちの「話すこと・聞くこと」の充実を図り、自分の考えを説明したり、文章を書いたりする機会を増やしていきます。

家庭での取り組み



- 毎日の生活リズム（起床、就寝、食事の時間）を守らせましょう。
- アウトメディアチャレンジを基にゲームやスマートフォンの使い方を親子で決めましょう。
- 読書の習慣をつけさせましょう。
- 「家庭学習の手引き」を参考に自主学習ノートを使った家庭学習を習慣化させましょう。

問 飯舘村教育委員会☎0244-42-1631